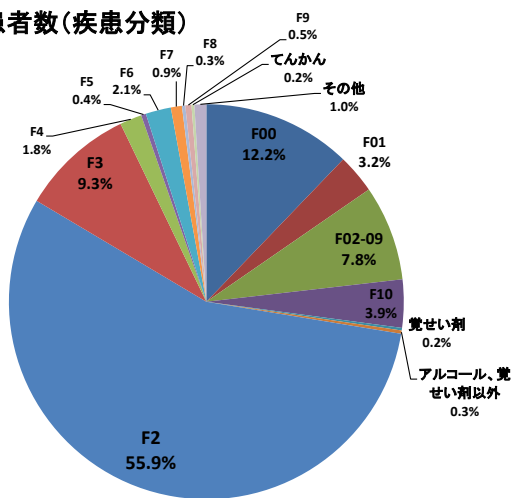
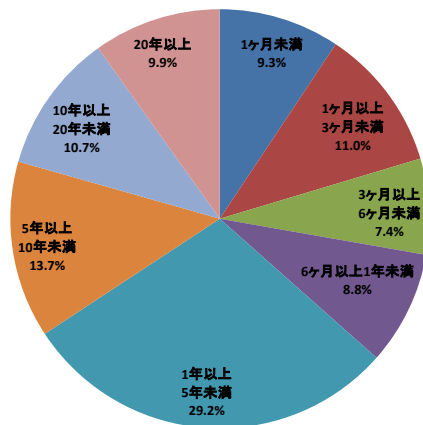


在院患者数(疾患分類)



全国の在院患者数は、284,806人である。
そのうちの約6割を統合失調症が占めており、159,320人にのぼる。
因みにその下はアルツハイマー病型認知症34,710人、気分(感情)障害26,508人。

在院患者数(在院期間)



在院期間が1年以上になる患者は全体の63%に及ぶ。
3ヶ月未満となると、全体の20%にしか満たない。
また20年以上入院をしている患者は、全国に約2万8千人であり、長期入院は現代の日本の問題点である。

- F0=症状性を含む器質性精神障害
- F00=アルツハイマー病型認知症
- F01=血管性認知症
- F02-09=上記以外の症状性を含む器質性精神障害
- F1=精神作用物質による精神及び行動の障害
- F10=アルコール使用による精神及び行動の障害
- 覚せい剤=覚せい剤による精神及び行動の障害
- アルコール、覚せい剤以外=アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害
- F2=統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- F3=気分(感情)障害
- F4=神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
- F5=生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
- F6=成人のパーソナリティ及び行動の障害
- F7=精神遅滞(知的障害)
- F8=心理的発達障害
- F9=小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害